

# 病害虫発生予報

## 第7号(10月予報)

令和7年9月26日  
岐阜県病害虫防除所

作物名	病害虫名	対象地域名	10月予報
			発生量
なし	黒星病	栽培地域全域	少
果樹共通	果樹カメムシ類	栽培地域全域	やや多
イチゴ	ハダニ類	栽培地域全域	平年並
野菜一般	アブラムシ類	栽培地域全域	平年並
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	やや多
	タバコガ類	栽培地域全域	多
施設野菜	コナジラミ類	岐阜・西濃地域	多

### 【防除にあたっての注意事項等】

薬剤防除にあたっては、「病害虫・雑草防除指導指針」を参照するとともに、最新の農薬登録情報を確認し、使用基準を遵守してください。

外部リンク：外部リンク：農薬登録情報提供システム（農林水産省）  
<https://pesticide.maff.go.jp/>

### 【発生予報・根拠・注意事項等】

#### I 果樹類

##### 1 なし

黒星病	対象地域	発生量
	栽培地域全域	少

- (1) 予報の根拠（発生量が多くなる要因を（+）、少くなる要因を（-）で表記）  
ア 発病葉率、発病果率ともに栽培地域全域で低かった（-）。  
イ 向こう1ヶ月（9/27～10/26）の気象予報によれば、気温は高く（-）、降水量は平年並（±）と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項  
ア 秋期防除を徹底し、次年度の伝染源の発生を抑制する。  
※ 病害虫図鑑「なし 黒星病について」もあわせて参考にしてください。

##### 2 果樹共通

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

- (1) 予報の根拠  
ア 予察灯における果樹カメムシ類の成虫誘殺数は、中濃地域で少なく（-）、岐阜・西濃地域は平年並（±）、東濃と飛騨地域で多かった（+）。  
イ チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数は、岐阜・西濃地域で平年並（±）中濃、東濃および飛騨地域で多かった（+）。  
ウ カキの被害果率は、岐阜・西濃地域、中濃地域で少なかった（-）。リンゴの被害果率は、飛騨地域で平年並であった（±）。  
エ 向こう1ヶ月（9/27～10/26）の気象予報によれば、気温は高く（+）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 夜温が低下すると活動が低下するが、昼間の気温が高いとカメムシ類の加害が続くことがある。

※ 病害虫図鑑「果樹カメムシ類について」もあわせて参考にしてください。

## II 野菜

### 1 イチゴ

ハダニ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア ほ場での発生量は、認められていない（－）。

イ 向こう1ヶ月（9/27～10/26）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

イ 生物農薬を活用する。

※ 病害虫図鑑「イチゴ ハダニ類について」もあわせて参考にしてください。

### 2 野菜一般

アブラムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

(1) 予報の根拠

ア 黄色水盤での誘殺数は、東濃地域で多く（＋）、中濃地域で平年並（±）、岐阜・西濃地域と飛騨地域は少なかった（－）。

イ ほ場での発生量は、岐阜地域のキュウリが多かった（＋）。また、その他の調査作物について、ほ場での発生は全域で認められなかった（－）。

ウ 向こう1ヶ月（9/27～10/26）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。

※ 病害虫図鑑「ナス アブラムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

(1) 予報の根拠

ア フェロモントラップの誘殺数は、東濃地域で多く（＋）、中濃地域で平年並（±）、岐阜・西濃地域で少なかった（－）。

イ サトイモほ場での発生量は、岐阜・西濃地域で平年並（±）、中濃地域で少なかった（－）。

ウ 向こう1ヶ月（9/27～10/26）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫発生予察注意報第5号「ハスモンヨトウ」（令和7年8月4日）、病害虫図鑑「野菜類 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

タバコガ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

(1) 予報の根拠

ア オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、中濃、飛騨地域で多く（＋）、東濃地域で少なかった（－）。

イ タバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、中濃、東濃で多く（＋）、飛騨地域で平年並

であった（±）。

ウ 向こう1ヶ月（9/27～10/26）の気象予報によれば、気温は高く（+）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。

※ 病害虫図鑑「ナス タバコガ類について」もあわせて参考にしてください。

3 施設野菜

コナジラミ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃地域	多

(1) 予報の根拠

ア 岐阜・西濃地域のトマト施設周辺に設置した黄色粘着板への誘殺数は、多かった（+）。

イ 向こう1ヶ月（9/27～10/26）の気象予報によれば、気温は高く（+）、降水量は平年並（±）と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア ほ場ごとに発生状況の差があるため、ほ場内をよく観察し、発生が認められる場合は薬剤防除を実施する。

※ 病害虫図鑑「トマト コナジラミ類について」もあわせて参考にしてください。

[参考資料1]

【9月の調査における病害虫発生量】

作物名	病害虫名	調査地点での発生量：9月			
		岐阜・西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
大豆	カメムシ類	やや多	—	少	—
	ハスモンヨトウ	多	—	多	並
かき	ハマキムシ類	やや少	やや多	—	—
なし	黒星病	少	少	—	—
果樹共通	果樹カメムシ類	並	並	多	多
イチゴ	ハダニ類	並	並	—	—
夏秋トマト	灰色かび病	—	—	少	少
野菜一般	アブラムシ類	並	並	多	少
	ハスモンヨトウ	並～やや多	やや多	多	—
	タバコガ類	—	多	やや多	多
施設野菜	コナジラミ類	多	—	—	—

※調査地点はほ場、予察灯、フェロモントラップ等

[参考資料 2]

《用語の基準と使用法》

1	半旬	月の1～5日を第1半旬、6～10日を第2半旬と表す。
2	時期	平年並 平年値を中心として前後2日以内。 やや早い 平年値より3～5日早い。 やや遅い 平年値より3～5日遅い。 早い 平年値より6日以上早い。 遅い 平年値より6日以上遅い。
3	発生量	平年並 平年値を中心として、その値が±20%以内。 やや多い 平年値より、その値が21～40%多い。 やや少ない 平年値より、その値が21～40%少ない。 多い 平年値より、その値が41%以上多い。 少ない 平年値より、その値が41%以上少ない。
4	平年値	同一調査地点における過去10年間の値の平均値。

[参考資料 3]

【東海地方1か月気象予報】（抜粋） 名古屋地方気象台 令和7年9月25日発表

《予想される向こう1カ月の天候（9月27日から10月26日）》

- ・気温は高い状態が続くでしょう。
- ・降水量、日照時間ともに、ほぼ平年並みの見込みです。

病虫害防除所ホームページに、病虫害発生予察調査データを公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2979.html>

主要な病虫害の防除上の注意事項等については、「病虫害図鑑」をご活用ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12933.html>